松平郷×歴史×紅葉×さんぽ

歴史を満喫



松平郷館の展示
松平太郎左衛門家ゆかりの品々



松平東照宮 産八幡の宮
松平郷を代表するパワースポット



在原家墓所
松平郷を開拓した在原家



高月院
山門・本堂は徳川家光公に寄進された



松平城（郷敷城）跡
山腹に約 400mの空堀の跡が残る



散策を満喫



鯉のエサやり
鯉さんからモテモテになれる



石垣と石階段
スタッフいちおしの穴場スポット



天下茶屋でひといき
お食事、甘味が揃う茶屋

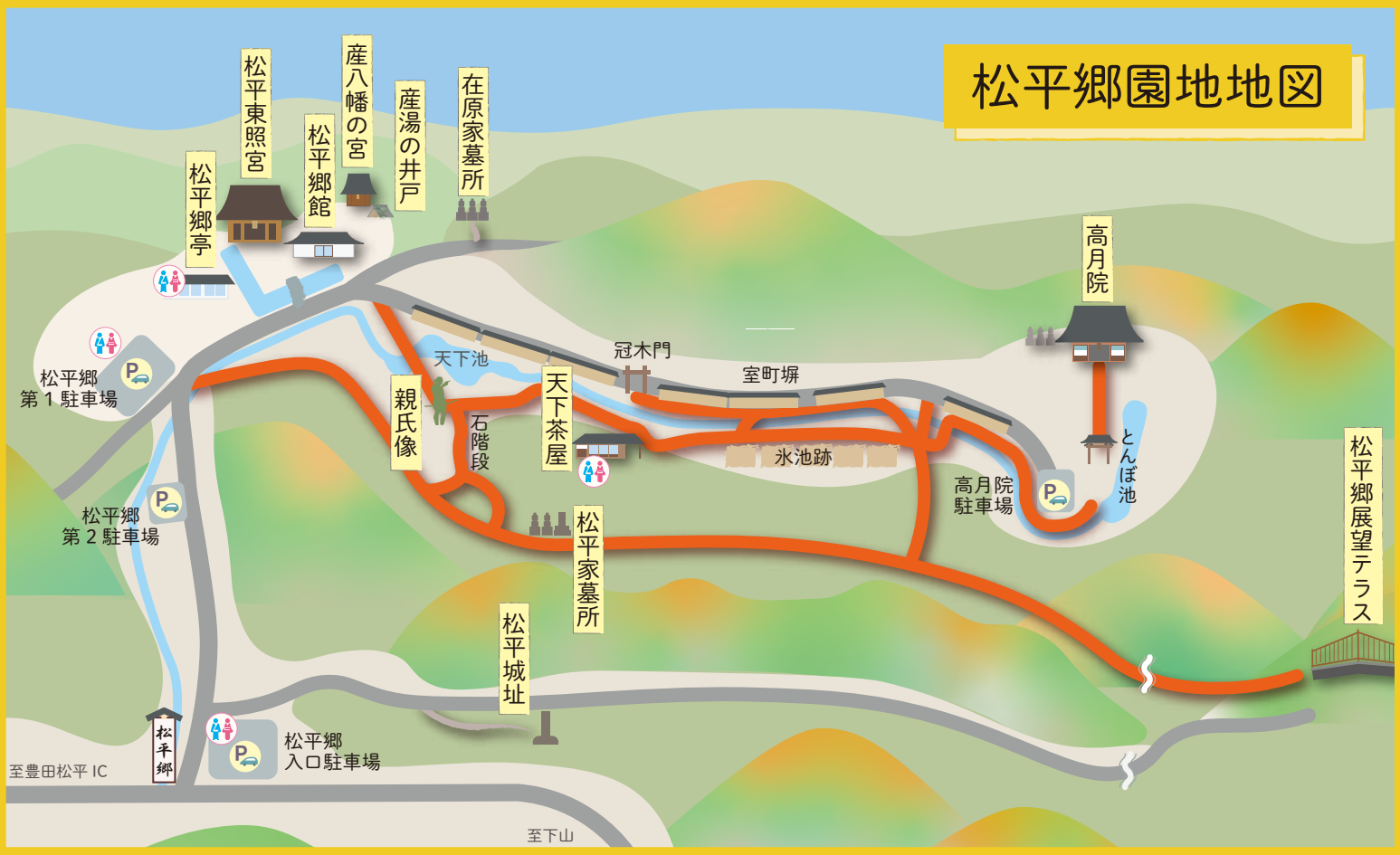


室町塀沿いのお花と紅葉
足元にもぜひ目を向けてみて



松平郷展望テラスからの眺望
濃尾平野まで見渡せます

松平郷園地地図



松平郷第１駐車場より

高月院	450m	約 7分
松平郷展望テラス	950m	約 25分
松平城址	1020m	約 20分

松平東照宮	9時～16時（社務所）
松平郷館	10時～15時（水曜休館）
天下茶屋	10時～15時（水・木曜定休）





松平郷園地

松平東照宮から高月院の約２ヘクタールが「松平郷園地」として整備され、四季折々の植物に野鳥や昆虫など自然を身近に感じることができます。「室町塀」や「冠木門」は、室町期の歴史景観を醸し出し、紅葉と共に秋の散策を一層楽しませてくれます。

お気に入りの景色や空間を見つけてください。





高月院

1367年寛立上人が「寂静寺」として建立し1377年に松平親氏公が本尊阿弥陀仏や堂・塔の全てを寄進してから「高月院」と改め松平氏の菩提寺となる。

現在残る山門や本堂は1641年に三代将軍家光公によって建てられたものと伝わります。（本堂手前の山門は令和６年秋に建て替えられました）

境内には「家康公お手植え」と伝わるシダレザクラがあり、現在も春になると立派に花を咲かせ、訪れる人たちを楽しませてくれます。

また、本堂左手の奥に墓所があり、階段を登っていくと親氏公、泰親公、親忠夫人の墓が並んでいます。





松平太郎左衛門家

弘安年間（1280年頃）在原信盛がこの地に入郷し、開拓しました。信盛の子信重は開拓を進め交通の便を図りました。後にこの地を訪れた旅の僧徳阿弥は、信重の末娘水女の婿として家を継ぎ親氏と称し松平太郎左衛門家親氏が誕生しました。親氏は近隣７ケ村を手中にし、松平家の勢力拡大のきっかけを作ったのです。





八幡神社 松平東照宮

松平東照宮の境内には、元々松平太郎左衛門家のお屋敷があり、現存する水濠や石垣は、九代尚栄によって関ヶ原合戦のあとに築かれたものです。（松平太郎左衛門家は、大正初期までこの地に居住していました）

はじめは八幡宮として松平家の屋敷神でしたが、1619年（元和５年）家康公を合祀し、1965年（昭和40年）親氏公を合祀しました。

境内には松平太郎左衛門家ゆかりの品が展示されている「松平郷館」、松平家が代々産湯に用いたという産湯の井戸があります。家康が岡崎城で生まれた際も、竹筒に入れ早馬で届けられたと伝わります。

スタッフのおすすめ

ツワブキのお花にはたくさんの虫が集まって来るので
目を凝らして探してみてください

松平の「好き」が見つかるお手伝いをしています
松平観光協会　☎ 0565－77－8089

作成日：2026年９月